

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地図）	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 6 帝国
基礎・基本の 定着	<p>1 地図の活用をうながす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。 ・巻頭に「この地図帳の活用方法」を設け、一般図、テーマ地図、グラフ・写真などの資料の見方などの地図帳の使い方や三分野での活用例を記載している。 ・巻末ページに「地図の比較」で地図記号を記載した地勢図を記載している。 ・世界と日本の各地域の一般図において、「注目したい記号」を記載している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 (国土の地理的環境の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ・日本全体に関して、地形、気候、災害・環境問題、人口、資源・エネルギー、各産業、交通・通信網、世界との結びつき、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 <p>(歴史的事象の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界との関係（古代～近世）（全2ページ） ・日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料（テーマ数15、全11ページ） ・日本全体についての歴史に関する資料 「旧国名1868（明治元）年」 資料さくいんに歴史の項目を記載 	<p>1 地図の活用をうながす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。 ・巻頭に「地図帳の使い方」を設け、地図の要素、一般図、鳥瞰図、資料図などの地図の使い方を記載している。 ・巻頭に地図記号、小学校で学習した地図の約束を記載し、さらに地図活用についての2次元コードを記載している。 ・「地形図の主な記号」を使った「国土地理院の地形図」を記載している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 (国土の地理的環境の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本のページ」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ・日本全体に関して、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、各産業、交通・通信、観光・スポーツ、歴史遺産、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 <p>(歴史的事象の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアと日本の交流の歴史（全2ページ） ・日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料（テーマ数18、全17ページ） ・日本全体についての歴史に関する資料 「日本の歴史遺産」、「日本の生活・文化」、「昔の国名と国境」
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」を設け、地図活用の視点として17のゴールを記載している。 ・「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、吹き出しを設けている。また、「ジャンプ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。 <p>【具体例】</p> <p>①ヨーロッパ州の基本資料 5 混合農業の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一つの畑で、同じ作物を育て続けられないのはどうしてかな」 ジャンプ「十勝平野の畑作」。 <p>②九州地方のテーマ資料 2 九州地方の火山と温泉・地熱発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「温泉や地熱発電所が集まっている地域には、どんな共通点があるのかな」 ジャンプ「火山と地震の分布」 	<p>1 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災、環境、日本との結びつきなどの地図活用のためのヒントとなるマークが記載されている。 ○地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」を各所に設定し、読図や比較を通して、分かることを整理したり、説明したりできるような問いを示している。 <p>【具体例】</p> <p>①アフリカ州の資料（2） 8 貧困率と栄養不足の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1日1.90ドル以下で生活する人の割合が高い国は、どのような国だろう。⑦図の鉱産資源に注目して考えてみよう」 <p>②九州地方の資料 12 火山災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島原半島では、火山災害に備えてどのような対策をしているか答えよう」 <p>○資料に「プラチナ」というマークを設定し、別ページの関連性の深い資料を示している。</p>

発行者 観点	2 東書	4 6 帝国
	<p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。 	<p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。
内容の構成・配列・分量	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ数 192 「世界の資料図」20 「世界の諸地域」56 「日本の諸地域」62 「日本の資料図」19 「統計」10 「さくいん・資料さくいん」11 「巻頭・巻末」14 	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ 188 「使い方・資料」15 「世界の諸地域」58 「日本の諸地域」68 「日本の資料」20 「統計」9 「さくいん」12 「巻頭・巻末」6
内容の表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。 インターネットを使った学習ができることを示した「D」マークを各所に記載している。 <p>○地図の種類と縮尺</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域地図、大陸地図 4500 万分の 1～9000 万分の 1 各州地図 1600 万分の 1～3000 万分の 1 日本全体 550 万分の 1、1600 万分の 1 日本の各地方地図 100 万分の 1、200 万分の 1 日本のある地域の拡大図 50 万分の 1、10 万分の 1、5 万分の 1 	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図活用の技能を身に付けるための問いとして「地図活用」のマークを記載している。 「地図活用」の解答や学習を深めるためのコンテンツを見ることができるよう、各所に二次元コードを記載している。 資料のページで扱ったテーマに対して、資料を見るときに着目する視点を示すための「学習課題」を設定している。 <p>○地図の種類と縮尺</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域地図、大陸地図 3500 万分の 1～9000 万分の 1 各州地図 1600 万分の 1～3000 万分の 1 日本全体 400 万分の 1、1600 万分の 1 日本の各地方地図 100 万分の 1、200 万分の 1 日本のある地域の拡大図 50 万分の 1
言語活動の充実	<p>1 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>○巻頭に「この地図帳の活用方法」として、ヨーロッパ州を例に挙げ、調べ方を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「一般図を見て見よう」 (ページ番号・インデックス、位置図、タイトル、さくいん記号等についての説明を記載している) 「テーマ地図やグラフ・写真などの資料を見てみよう」 (基本資料、テーマ資料を記載し、活用方法を記載している) 「歴史や公民でも活用しよう」 (歴史的分野、公民的分野との関連を示すマークを例に挙げて記載している。) <p>2 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、地図の活用方法や課題を追究するための問いなどの吹き出しを 51 カ所設けている。 	<p>1 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>○巻頭に「地図帳の使い方(1)」として、オセアニア州を例に挙げ、調べ方を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地図帳を開けたらまず確認しよう」 (タイトルと縮尺、凡例、位置図、同緯度・同経度・同縮尺の日本、インデックスなどの説明を記載している) 「いろいろな地図を使いこなそう」 (一般図、鳥瞰図、資料図の説明を記載している) 「地図帳を使いこなそう」 (さくいん、統計、資料図ページの説明を記載している) 二次元コードの活用例を説明している。 <p>2 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>○「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを 107 カ所設けている。</p>